

自然のめぐみと人々に育まれる落ち葉スキー

恵田学区

ETA



未来のあなたの時代へ

恵田小学校
落ち葉スキー
(昭和32年～)



祖父母の時代(昭和34年)



僕たち、私たちの時代(平成27年)



父母の時代(平成2年)

新世紀岡崎に伝えたいメッセージ

柴田啓光勲さん(恵田町)

風を切って松葉の上を滑る落ち葉スキーは恵田小学校にしかありません。ぼくは落ち葉スキーが大好きです。そして、そんな自然がいっぱいの恵田学区も大好きです。



中根忠男さん(駒立町)

ここに記載されているのは近頃の一部。多くの語られなかったものも、また大切。形に見えない多くの力による永い過去があり、今があり、未来がある。地域は母。



市川浩美さん(丹坂町)

私が恵田に住み始めて15年。山に囲まれ緑が本当に豊かな地。それと共に住む人が、心地良くなれる隣近所。声の掛け合いが自然で、毎朝、行ってらっしゃい!と笑顔になれる言葉もらっています!



犬塚わかなさん(花園)

生活に便利な土地とは言えません。でもここには、新しい人工的な物では代えられないものがたくさんあります。木々の緑、土におい、瑞々しい果実、顔の見える本当の助け合い、結束力は、恵田の宝です。



恵田小学校の特色ある教育活動のひとつ、一輪車



編集後記

作成委員として学区の“古き良き時代”を探る貴重な機会を与えられたこの1年。各時代の先人たちが後世のためを思い、精一杯に歩んできた姿を垣間見ることができたように思います。限られたスペースのため、“代表的な記録”の構成となりましたが、本書が後世に語り継がれる資料のひとつとなれば幸いです。(作成委員代表 柴田博和)

〔作成委員会〕 代表：柴田博和(恵田学区 総代会長) / 副代表：小幡保(恵田学区 社教委員長)
委員：十河幸代(恵田小学校校長) / 牧野守(恵田小学校教頭) / 岩瀬孝幸(丹坂町総代) / 寺本誠一(花園総代)
歴史担当：小原敏(恵田町) / 中根忠男(駒立町) / 岩瀬廣淵(丹坂町) / 編集担当：梅原寿夫(恵田町)
※役職は平成27年度

〔参考資料〕 岡崎市HP統計資料 / 新編岩津町誌 / 恵田小学校130周年誌 / 岡崎駒立ぶどう狩り開園50周年誌 / 駒立町ぶどう狩り幸果園HP / 県道長沢東蔵前線工事完了記念碑 [表紙写真] 昭和32年から続いている恵田小学校の落ち葉スキー。毎年11月から2月頃にかけて行われる。「未来のあなたの時代へ」の絵は、平成25年度の小学2年生が描いた作品より転載



1 恵田学校創立の地である「浄教坊」



2 駒立愛宕神社の前にある県道339号長沢東蔵前線の開通記念碑



3 農村歌舞伎の演者。左は故高橋誠夫さん、右は故鈴木幸雄さん



4 昭和34年に行われた駒立―東岡崎駅間の名鉄バス開通式



5 昭和50年の恵田小学校創立100周年記念式典



8 平成27年に県大会の小型ポンプ操作の部で準優勝を果たした岩津消防団第9部の皆さん

恵田学区

まちなりたち

一八七四年 ■ 明治7

一八八七年 ■ 明治20

明治30年代

一九一二年 ■ 明治45

一九一四年 ■ 大正3

一九一六年 ■ 大正5

一九三二年 ■ 昭和7

戦前〜昭和40年代

一九四八年 ■ 昭和23

昭和20〜30年代

昭和30年代

一九五七年 ■ 昭和32

一九五九年 ■ 昭和34

一九六〇年 ■ 昭和35

一九六三年 ■ 昭和38

一九七五年 ■ 昭和50

一九七七年 ■ 昭和52

一九八〇年 ■ 昭和55

一九九八年 ■ 平成10

二〇〇五年 ■ 平成17

二〇〇六年 ■ 平成18

二〇〇七年 ■ 平成19

二〇〇八年 ■ 平成20

二〇〇九年 ■ 平成21

二〇一二年 ■ 平成24

二〇一三年 ■ 平成25

二〇一五年 ■ 平成27

二〇一六年 ■ 平成28

奥殿香山学校の分校として恵田村浄教坊(後の浄教寺)に恵田学校が創立…1

駒立学校と真福寺学校を花園学校に統合した後、恵田学校に改名する

岩津水力発電所(岡崎電燈株式会社)からの送電により、恵田学区に電灯が灯る

県道339号の長沢東蔵前線が開通…2

恵田小学校が現在地に移転

岡崎市制施行

集中豪雨のため、山崩れが多発。土砂流失によって田畑が甚大な被害を受ける

恵田町で養蚕が盛んになる

駒立町でぶどう栽培(↓特集)を開始

農村歌舞伎が盛んになり、各町の神社の舞台や神楽殿で奉納を行う…3

丹坂町を主体に桃の栽培が盛んになる(平成に入りサルやイノシシの獣害により衰退)

落ち葉スキー(↓表紙・特集)が開始される

駒立―東岡崎駅間の名鉄バス路線が開通…4

駒立町で観光ぶどう狩りが始まる

駒立町石神のちようせんがや(↓地図B)が市天然記念物に指定

恵田小学校が創立100周年を迎える…5

本のおじさん(豊田市の故齊藤憲雄さん)から恵田小学校に図書(寄贈)をいただく

落ち葉スキーや手話などを通じて、岩津学区にある県立岡崎聾学校との交流が始まる

ライクタウン花園(団地)(↓地図I)の分譲開始

恵田小学校創立130周年

地域有志による学区防犯パトロール隊(↓特集)が発足

恵田町の宇野順市さんが厚生労働省による「現代の名工金属手仕上げ」に選ばれる

学区生涯学習講座「恵田の自然と人に学ぶ」開講

学区福祉委員会が発足、広報誌「めぐみのさと」(↓特集)を発行

落ち葉スキー場開場50周年記念フェスティバル開催(参加者は約600名)

花園団地の近藤克幸さん(当時42歳、福岡県出身)が柔道の第1回世界形選手権大会で金メダルを獲得

子ども会のソフトボールチーム「恵田イーグルス」が市大会で優勝…6

岡崎市民体育祭の第1ブロックで平成20年より5連覇を達成…7

恵田小学校創立140周年

岩津消防団第9部が第60回愛知県消防操法大会の小型ポンプ操作の部で準優勝…8

新東名高速道路の駒立橋が完成・開通

県道339号記念碑 道路の改修が決議されたのは明治33年(1900)。日露戦争による中断期間を挟み、明治45年6月1日に完成した。もともと駒立町は交通の便が悪い谷間の小村だったため、その後の発展はこの県道開通の恩恵が極めて大きかった



本のおじさん 故齊藤 憲雄さん かつては梅の実の売上金で本を購入していた恵田小学校。そのことを新聞の記事で知り、「子どもたちにたくさん読書してほしい」と救いの手を差し伸べたのが豊田市の故齊藤憲雄さん。昭和52年から32年間に渡って、子どもたちに「本のおじさん」と親しまれながら、累計3350冊に及ぶ本の購入費を寄付し続けてくれました

恵田学区の町名の由来

恵田町

田畑の日当たりが良く、農作物に恵まれたことから名付けられた町名だと推測されます。

丹坂町

山を背負うかたちで村落があり、坂が多く、土壌が赤土(丹)だったことから、その名がつけられたと思われまます。

駒立町

岡崎・松平往還の中ほどに位置し、馬の水飲みに適した流れもあることから、荷馬がよく立ち止まって休んでいたからではないかといわれています。

花園(ライクタウン花園)

その昔、持統天皇が三河に行幸した折、百花咲き乱れている村積山一帯を見て「花園山」と命名したといわれています。花園という名称は、その歴史にちなんでつけられました。

市の球技大会で優勝した子ども会ソフトボールチーム

平成24年、ブロック大会を勝ち上がり、岡崎市子ども会球技大会で初優勝を飾った「恵田イーグルス」。当日は体調不良だったエースを選手みんなで気遣い、チーム

一丸となって成し得た快挙でした。子どもたちの誇らしげな笑顔は、まも忘れることができません。



岡崎市民体育祭 第1ブロックで5連覇

平成20年に岡崎市民体育祭で優勝した恵田学区。その後も優勝を重ね、平成25年にはついに5連覇という偉業を達成しました。



選手だけでなく、体育委員や応援の皆さんにとっても、「やればできるんだ」という実感を得られた大切な思い出となっています。

DATA table with population (1,085), gender (559 male, 526 female), households (332), and area (6.56 km²) as of July 1, 2016.

恵田学区

まちものがたりマップ



A 駒立愛宕神社
県道沿いにある鳥居をくぐり、石段を上った高台の上に本殿がある



B 石神のちょうせんがや
岡崎市の指定天然記念物。樹齢300年以上と推定されている



C 抱き地藏
抱き上げると子宝に恵まれるという言い伝えがある



E 落ち葉スキー場
昭和55年以降は、岩津学区にある岡崎聾学校との交流の場にもなっている



D 丹坂八幡宮
地域住民の心のよりどころとして、古くから大切にされている



国道248号から東に向かうこと車で5分、ここが私たちのふるさと恵田学区。周囲を里山に囲まれ、目に優しい樹木の緑と心地よい野鳥のさえずりが人々の癒やしとなっています。一方でこのような生活環境は自然災害や産業の面で先人たちに大変な試練を与えました。しかし、その試練を乗り越えてきた地域力、結束力が、恵田学区の特色である落ち葉スキーや観光ぶどう狩りという大きな実を結んでいます。

岡崎駒立ぶどう狩り
(→特集)

COLUMN 6 丹坂町の「桜婆」お話
昔むかし、丹坂から奥殿へ行く峠(写真は現在の市道峠)に、二抱えもある太い桜の古木がありました。
ある日のこと、一人のきこりがこの桜を倒そうと、一生懸命に鋸を使っておりました。いつの間にか日も西に傾き、あたりが暮れ始めたころ、桜の樹の近くに美しい娘さんが不意に現れました。あまりの美しさに茫然と見とれている木こりに、その娘さんは悲しそうな声で言いました。
「その樹を切るのは止めて下さい」
そして、すうっと消えてしまいました。
しばらくすると、今度はやつれた老婆が現れて、娘さんと同じようなことを言い、やはり、ふっと消えていきました。しかし、狐か狸の仕業に違いないと軽く考えてしまった木こりは、とうとう樹を切り倒してしまい、家路につきました。その晩、木こりは何故か体調が悪くなり、床に寝ついたまま、間もなく亡くなってしまったそうです。それ以来、その桜を桜婆と呼ぶようになったそうです。



H 恵田八幡宮
116段の石段を登ったところにあり、木立に囲まれた静寂の中にたたずんでいる

COLUMN F 恵田小学校前の桜並木

平成27年に創立140周年を迎えた恵田小学校(写真1)の前には、見事な桜並木が続く通学路があります(写真2)。これは昭和30年代の終わりごろから40年代の初めにかけて、丹坂町の故市川与市さんが定年退職の記念に、駒立町の故中根吉雄さんと植えたもの。現在では樹齢を重ね、道路をアーチのように美しく覆っています。



D ライクタウン花園(団地)

平成12年、戸数160だった恵田学区に造成された
出身地や文化、価値観などが異なる多くの皆さん(戸数140余)を学区に迎えました。昔ながらの伝統と慣習を重んじながら、新たな発展と調和を求め、それぞれの立場で相互理解を深めながら現在に至っています(→特集)。



▷10月末に行われるハロウィン



◁学区防災訓練に参加する皆さん

めぐみのさと 恵田学区

豊かな自然や地域住民のつながりなど、たくさんめぐみがある恵田学区。すべてが私たちの大切なものからものです。

自然のめぐみ

観光ぶどう狩りと稲作

戦前から戦後にかけては水稻と養蚕が盛んで、また梨や桃づくりが活発な時代もあった恵田学区。昭和23年からは、駒立町の3名の有志がぶどう栽培に参入しました。

現在の観光ぶどう狩りは、季節になるとたくさん家族連れなどが訪れ、川遊びやバーベキューもしながら楽しい1日を過ごしていたり場となっています。

ぶどう狩り (現在)



おいしそうなぶどうがたくさんなっているぶどう園

養蚕 (戦前～昭和40年代)



後ろに写っているのは、蚕が繭(まゆ)をつくる回転族(まぶし)

桃栽培 (昭和30年代～平成22年)



かつて桃の栽培が行われていた

観光ぶどう狩り (昭和30年代～)



昭和30年代ごろの受付風景

恵田小学校の豊かな心づくり

自然とふれあう恵田っ子たち

恵田小学校では、子どもたちが自然とふれあいながら、ぶどうやもち米、キウイの栽培を地域の皆さんの指導や協力を得ながら行っています。自然のめぐみを生かしながら、恵田っ子の豊かな心づくりに取り組んでいます。



地域の皆さんの協力で子どもたちの豊かな心が育まれている



稲の刈り取りは、子どもたちが自然とふれあう大切な機会



△川遊びでは子どもたちの楽しそうな声がこだまする



▷ぶどう棚の下でバーベキューを楽しむ人たち



学区には気持ちのいい田園地帯が広がっている

地域住民のつながりのめぐみ

駒立町の巫女の舞奉納

お祭りのときに奉納する子ども会行事として、駒立愛宕神社で平成5年から続けられている巫女の舞。練習を通して地域の方との交流も進み、神事について子どもたちが学ぶ良い機会にもなっています。本番では女子児童が晴れやかな舞姿を披露。次世代にも継承したい大切なまちのたからものです。



緊張しながらも堂々とした舞を踊る女子児童

花園ふれあいまつり

平成14年からライクタウン花園(団地)の交流を目的に始まった毎年9月のお祭り。軽食やゲーム、抽選会の企画運営などは団地の方が持ち回りで担当しています。手づくりのお神輿を担いで家々を回るのも子どもたち。地域の人みんなで絆を深めています。



お祭りは大切な絆づくりの場



子ども神輿

学区生涯学習講座

「恵田の自然と人に学ぶ」をテーマに、野菜づくりやクワガタ捕りなど様々な講座を開催。講座が始まった平成20年から現在までに計52講座、延べ3300名あまりの人たちが参加しています。



学校では習わない内容もあり、子どもたちも興味津々

防犯パトロール隊



地域を守る防犯パトロール隊

平成18年に地域の有志により発足しました。地域の見回り活動を行って犯罪の未然防止に努めているほか、敬老会来場者の送迎活動やお祭りでの模擬店出店を通して、地域交流の促進にも努めています。

晩会 (老人クラブ)

日帰りバス旅行や忘年会で親睦を図っている晩会。地域の環境美化活動、恵田小学校の自然とのふれあい手づくり学習のお手伝い、さらに生涯学習講座の講師としても活躍しています。



晩会のメンバーの皆さん

落ち葉スキーフェスティバル

恵田小学校の落ち葉スキーが始まったのは昭和32年のことでした。当時の浅井修校長が「冬の体力づくり」と「自然と親しむ」ことを目的に考案。スキー場の開場50周年を迎えた平成20年には、記念のフェスティバルも開催されました。



平成20年の落ち葉スキーフェスティバル

学区福祉だより「めぐみのさと」

「めぐみのさと」という言葉は、学区福祉だよりのタイトルとしてもなじみです。もともとは平成20年に設立された福祉委員会が公募の中から選び出したもの。どの世代にも親しまれ、豊かな心で皆で支え合えたら、そんな願いが込められています。



介助の実技講習など、様々な活動を行う福祉委員会